

兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 3号)

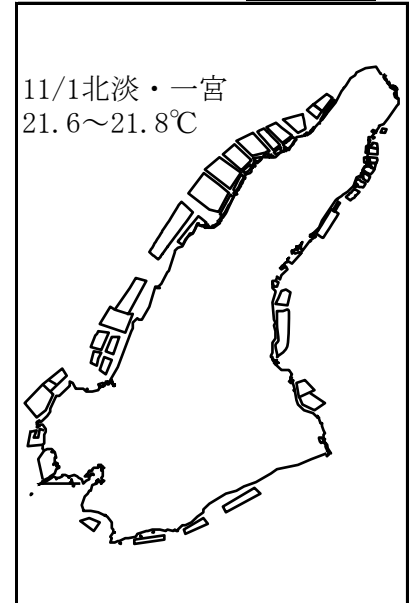
2021年11月 2日発行
 兵庫のに研究所

県下全域で大型珪藻コシノディスカスが大量発生していましたが、ここにきて発生量は減少しており、この海域では海水1Lあたり20~200細胞でした。窒素は西浦及び南浦海域で概ね2 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、東浦海域で概ね2~3 $\mu\text{g-at/L}$ の値と前回調査(10/25)よりもやや上昇しています。

(珪藻ほか)

各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。
 東浦: 20~130細胞、(前回値: 300~500細胞)
 西浦: 50~100細胞(前回値: 800~1000細胞)
 南浦: 15~30細胞、灘: 200細胞(前回値: 250~500細胞程度)

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	1.7	2.6	3.4	2.1
	リン	0.31	0.61	0.41	0.37
西浦地先	窒素	1.2	2.2	5.4	2.2
	リン	0.33	0.59	0.58	0.49
南浦地先	窒素	1.3	2.5	4.5	1.6
	リン	0.33	0.71	0.57	0.37

(10/25) (11/5)

栄養塩(窒素) 図

2021年11月 2日調査

